



プロフィール

出身地：東京都豊島区  
着任：令和3年4月  
勤務地：高島熱中小学校  
\*\*\*\*\*  
令和5年度をもって、協力隊の任期が満了となりました。この3年間は、高島熱中小学校業務のサポートを主としながら、町主催の様々なイベントにもスタッフの一員として参加させていただきました。たくさんの人との出会いがあったり、会社員時代にはできなかった体験をさせていただいたり、振り返ればあっという間の3年間でした。今後も高島町で活動していきますので、よろしくお願いします。

高島熱中小学校では、通常の授業に加えてナイトパーティーや遠足(山形市や長井市での授業)、芋煮会、そば打ち体験など、**これまで経験したことのない取り組みにもチャレンジ**しました。



芋煮会の様子▶

また、熱中小学校が事務局となり実施している「**高島町地域留学**」に以前参加した大学生延べ30人が、再び高島町を訪れてくれ、熱中小学校を起点とした交流の輪が着実に広がっていることを確信した1年でもありました。



熱中小学校の授業風景▶

町で主催するイベント(青竹ちょうちんまつり、グル麺ライド、仙台駅構内での高島フェアなど)にも、スタッフとして参加させていただきました。ほかにも、山形県主催の「**支え合いの地域づくり担い手養成講座**」に参加し、実際に地域づくりの担い手としてイベントの計画・実行・発表までさせていただきました。この活動を通じて、高齢化の進む地域の問題点や、人と人との関わり合い方など、多くのことを学びました。様々な場所で得た知見を、今後の高島町での暮らしに活かしていきます。



今後の活動

今後は時沢地区で圃場を構え、本格的にワイン用ぶどうの栽培を始めます。将来は生食用のぶどう栽培にも挑戦する予定です。私だけの力では限界が見えてきますので、時にはお力を借りながら事業展開していきたいと思えます。

◀ぶどうの苗木植栽



# 高島町 地域おこし協力隊 2023 活動報告書



「高島町地域留学」とは

県外で暮らす若者に、「高島での暮らし」を体験してもらう企画です。約1週間滞在し、高島町のユニークな人たちと共に生活や仕事をしてもらい「くらし・なりわい・コミュニティ」を体験します。今年度は、農作業を体験するコース、企業等を訪問し職場体験や製作体験、取材などを行うコースを設け、大学生を中心に全国各地から参加いただきました。熱中小学校が事務局となって令和4年から実施しており、地域おこし協力隊は参加者を受け入れる際の業務全般をサポートしています。



「地域おこし協力隊」とは

都市部に住んでいる人が、人口減少や高齢化等の課題を抱える地方に移住し、地域の魅力PR・お祭りやイベントの運営等、様々な「地域協力活動」を行いながらその地域への定住・定着を図る総務省の取り組みです。高島町では、令和5年度末時点で5人の協力隊員が活動しています。

◆問合せ先/企画課 ☎(52)1112



～地域おこし協力隊の活動を  
各種SNSで発信しています～



高島町地域  
おこし協力隊  
TikTok



高島町地域  
おこし協力隊  
Instagram



高島町地域  
おこし協力隊  
Facebook



YouTube  
高島町公式  
チャンネル



活動のメインとして取り組んできた「高島高校の魅力化」については、おかげさまで一般入試の出願者が増えました！様々な施策と多くの方のご尽力あっての結果だと思えますが、ここからが本番と思っています。新年度に向けて今から準備を進めておりますので、次回は「高島の学び最前線」をお伝えできるよう一層頑張ります！



◆「よれはたかはた」のワークショップ  
環境への意識向上や取り組みの推進を目指した生活環境課主催の「よれはたかはた」。昨年の活動の集大成として、1年の振り返りワークショップと仲間募集のための動画制作をさせていただきました！高島高校の高島ゼミ生に伝授した「ストーリーテリング」の方法は、ワークショップにも動画作成にも応用できるのです！

◆リーダー育成塾「中核人財確保支援」の”担い手”とは？  
町内企業の経営者を対象とした「通称：リーダー塾」。コンサルティング会社や広告代理店の方々と共に、「高島の未来を創る」ために経営計画を作って来られたみなさんが、次は「企業の中核を担う人財の採用育成」に向けて動き出しました。今回僕は「中核人財ってどんな人？」「何のために仲間を増やしたいの？」といった対話を通じて、みなさんの計画をより具体化する、というミッションで携わらせていただきました。「高島の未来の担い手」を育てるという意味では、こちらも重要な任務になると思います。



かきのき ゆいま  
柿木 結允



### プロフィール

出身地：東京都小金井市  
着任：令和5年9月  
勤務地：商工観光課

\*\*\*\*\*  
カッキーこと柿木です！せっかく高島に来たからには！と思いわらじみこしに参加しました。前日まで風が吹くたびにビビってましたが…楽しいお祭りでした！町のみなさん曰く「今年は暖かくてよかったね」と。…来年が本番のようです(笑)

高島での定住を考えたとき、自分はどんな生活がしたいのか悩む時期もありました。しかし、着任する前から「自然を身近に感じる生活がしたい」という思いがあり、高島に来たことを思い出しました。そしてその実現を可能にする仕事が「農業」だという答えにたどり着きました。

農業を志すうえで、どの作目に取り組むかを迷うことはありませんでした。それは、高島で食べたぶどうが「こんなに美味しいぶどうは食べたことがない」と思うほど美味しく、私の食に対する幸福度が上がった原点が「高島町のぶどう」であるからです。

「ぶどう農家になりたい」と希望してからは、多くの人の支えをいただき、令和5年度からは農業研修をメインに協力隊活動をしています。農作業を経験することで多くの刺激を受けています。どのようにしたら上手くいくか、効率よくできるかなど考えることは沢山ありますが、体力の許す限り園地に出向く日々は、充実していて楽しいです。



また、SNSを利用した町の魅力発信も継続しています。高島町内を散歩しているような疑似体験をしてもらい、四季折々の景色を楽しんでもらう360°動画の撮影や、町内の主要な道を走る車載動画の撮影を1年間継続して実施しました。随時YouTubeで投稿しているのでぜひご覧ください。Instagram、Facebook、TikTokでも素敵な景色を発信しています。

いわた ともき  
岩田 朋樹



### プロフィール

出身地：兵庫県伊丹市  
着任：令和2年9月  
勤務地：商工観光課(～R5.3)  
農林振興課(R5.4～)

\*\*\*\*\*  
移住当初は兵庫県との違いに戸惑いもありましたが、今は高島に来て良かったなと感じています。高島に住んでから旬の食材を知ったことで食べたいものが増え、食事に対する幸福度が上がりました。

かねこ たく  
金子 拓



### プロフィール

出身地：川西町(Uターン)  
着任：令和5年10月  
勤務地：高島町観光協会

\*\*\*\*\*  
関東圏で開催された高島町の物産イベントに携わる機会があり、そこで観光や物産に興味を持ちました。協力隊として高島町を盛り上げる手伝いをしたいと思ったことがきっかけで、地域おこし協力隊になりました。

私のミッションは高島町の物産推進です。高島町の物産を町外、県外の人たちにたくさん知ってもらうことで、高島に来るきっかけにしてもらえるような活動に力を入れていこうと考えています。

その1つとして、SNSでたかっきはたつきを使った情報発信や交流に力を入れていきたいと思い、この冬は活動をしていました。ゆるキャラが観光や物産を紹介することで、これまでにない層の方々へ向けての広報になるのではと思い取り組んでいます。今後は、たかっきはたつきファンとの交流や、他地域のゆるキャラとの交流を第一歩とし、高島をPRしていきます。

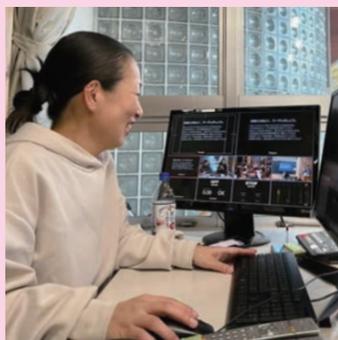


▲冬咲きぼたんまつりの準備の様子



着任して早くも半年が経ちます。この半年の活動の中で、私は新しいものをつくるより、今あるものの解釈を広げて活用していきたいと思いました。高島町が持っている企画力や観光、物産に対しての可能性をもっともっと活かしていけるコンテンツ作りに尽力していきます。

さとう ゆみこ  
佐藤 裕美子



### プロフィール

出身地：高島町(Uターン)  
着任：令和5年6月  
勤務地：高島熱中小学校

\*\*\*\*\*  
Uターンで東京から移住してきました。約30年ぶりの高島は、初めて知ることや変化していることが想像以上にたくさんありました。今後は高島を訪れる人へ向け、移住経験者目線で「今の高島」をお伝えしていきます。

今年度の主な活動内容は、「熱中小学校運営・施設管理」業務と「移住促進関連」業務でした。高島熱中小学校関連業務では、授業日の準備・配信等の業務はもちろん、なかなか目立たないけれど、それに付随するような業務も、多岐にわたります。生徒のみなさん、サテライトオフィスに入居いただいている企業のみなさん、時沢小学校を大切に残してくださった地域のみなさんにご協力いただき、1年目の不慣れな私を含む少人数の事務局でも、なんとか運営することができました。



佐藤さんが制作した移住・定住ガイドブック▶

フェアなどでは、その冊子をきっかけに、別の自治体のみなさんとお話する機会にも恵まれ、横のつながりの大切さも感じました。

好きで永年続けてきた制作の仕事を高島で活かしたことは、大きな喜びとなりました。